

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

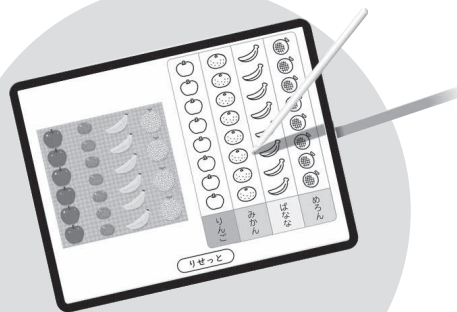
受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-142	小学校	算数科	算数	1年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 120 算数 121	わくわくさんすう1 すたあとぶっく わくわくさんすう1		

## 1 編修の基本方針

私たちが目指したのは、子どもたちが「主体的・対話的で深い算数の学び」を通して、将来の予測が困難といわれる未来の社会を生き抜いていく力を身につけることです。そのため、「1人1台端末を有効に活用」しながら、自身や友だちとの対話による深い学びや、個別最適な学びが実現できるようにしています。さらにそれらを通して、国際的な学力調査(PISA、TIMSSなど)で課題とされる「学習意欲面の向上」にも繋げています。



子どもたちが未来を生き抜いていく  
基礎となる資質・能力を培う



1人1台端末を有効活用した  
新時代の学習スタイルを構築する

1

生活していく上で、  
基礎・基本となる数学的な知識・  
技能が習得できる

2

筋道を立てて考える能力を育て、  
ものごとを合理的に処理する  
思考力・判断力・表現力等が  
育成できる

3

新しいものごとを理解し  
創造する能力を育て、  
学びに向かう力・人間性等が  
涵養できる

1

問題解決や基礎・基本の定着など、  
さまざまな場面でICTを利活用して  
学ぶことができる

2

リアルとデジタルのよさをいかし、  
協働的な学びと個別最適な学び  
を実現することができる

3

家庭学習などの自学の場面で、  
自律的に学習を進めること  
ができる

数学的な  
見方・考え方

「数学的な見方・考え方を働かせる」ことを  
軸として展開しています。

QRコンテンツ

学習に効果的なコンテンツを各紙面の  
QRコードからご利用いただけます。

\*QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



# 「主体的・対話的で深い算数の学び」を実現する

## ① スタートカリキュラムのための1年新分冊『すたあと ぶっく』

### ● 幼児期の体験をいかして算数の学習へ

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」には、自立心や協同性、思考力の芽生え等に加え、数量・図形への関心・感覚という項目が含まれています。

1年新分冊『すたあと ぶっく』では、巻頭や単元の入口に幼児期の体験を算数の学びへと繋げていくことができるように、とびらページを設けています。



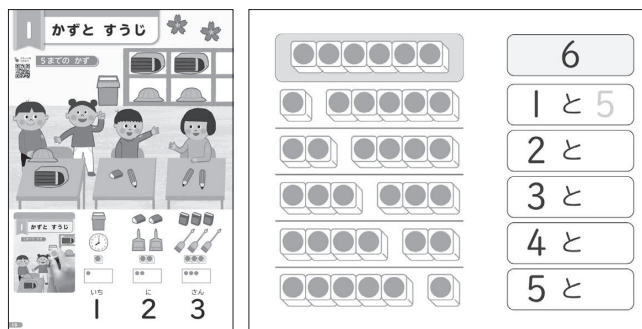
>>> すたあと ぶっく 巻頭「わくわく すたあと」p.2~3

### ● 新1年生にとってより学びやすく

1年新分冊『すたあと ぶっく』は、製本や用紙を工夫し、大きく平らに開くことができ、書き込みもしやすくしています。

「絵の上にブロックを置く」  
「線や数字を書き込む」

といった活動を、これまでよりスムーズに行うことができるようになっています。



>>> すたあと ぶっく p.10 >>> すたあと ぶっく p.29

## ② 深い学びへのステップアップ

### ● 学びに向かう力を育むために

児童が学習経験を積み重ね、成長していくのにあわせて、

- ① 学んだことをいかして考える
  - ② 自ら問いを立てて学びに向かう
  - ③ 互いの考えを説明し、話しあう
- といった数学的活動を主とした展開を取り入れ、深い学びへとステップアップできるようにしています。

児童が学んだことをいかし、自ら問いを立てて学びを進めていけるところでは、児童の主体的な学びを促す「めあて」を掲載しています。



**I** くるまが 8 だい とまっています。3 だい くと、なんだいに なりますか。

**あ** しきに かきましょう。

しき

3 だい ふえるから、たしざんに なります。

かぞえと、8、9、10、11

かぞえなくても、けいさんで できるかな。

10 を つくれば かぞえやすいよ。

3 から 2 うごかせば、10 に なるよ。

10 と 1 で……

学びをいかす  
数学的な  
見方・考え方

自ら問いを  
立てる

考えを説明する  
数学的な  
見方・考え方

>>> 1年p.60~61

## 未来を生き抜く基礎となる力を培い、 新時代の学習スタイルを構築する

### ① 生活をしていく上で基礎・基本となる数学的な知識・技能が習得できる。

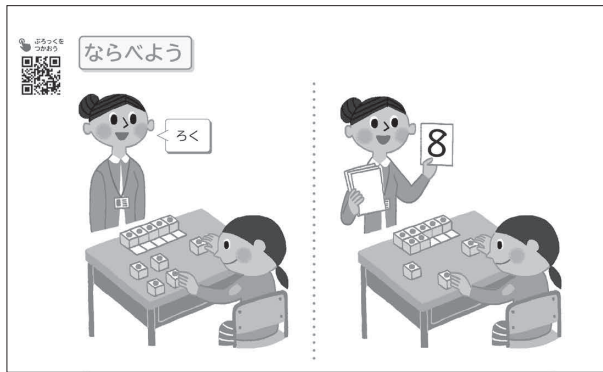
#### ● 操作活動を通して基礎的な理解をはかることができます

1年生では基本的に、身のまわりの事柄から算数の学習へと入っていきけるようにしています。そして、身のまわりのものやブロックなどを操作する活動といった具体的、体験的な学びを通して、基礎的な知識・技能が習得できるようにしています。

#### ● 操作活動においてICTを活用することができます

発達段階に配慮し、主として具体物での操作活動を扱っていますが、シミュレーションのQRコンテンツも用意しています。

児童1人ひとりにあわせてご利用いただくことで、個別最適な学びが可能です。



>>> すたあと ぶっくp.18

### ② 筋道を立てて考える能力を育て、ものごとを合理的に処理する思考力・判断力・表現力等が育成できる。

#### ● 協働的な学びを通して、思考力等を育成していきます

1年生では基本的に、すべて一斉問題(■のマークの問題)で構成し、みんなで一緒に考えて協働的に学習を進めていくことができるようにしています。また、児童が考え理解したことを、自らのことばで説明する場面を適宜設けることで、思考力・判断力・表現力等の育成が図れるようにしています。

#### ● コラムや活用単元で、思考力等をさらに伸ばしていくことができます

コラム『さんすう ぼけっと』では、学習したことをさらに広げたり深めたりすることができる題材を掲載しています。

また、次のような活用単元を設定し、思考力・判断力・表現力等のさらなる育成が図れるようにしています。

まなびを  
いかそう

- ・「わくわく ぶろぐらみんぐ」(1年p.94~95)  
… 位置の表し方の理解を深めるとともにプログラミング的思考を育む
- ・「たすのかな ひくのかな」(1年p.116~117)  
… どんな式になるかを考えたり、理由を説明したりする力を育む
- ・「かえますか? かえませんか?」(1年p.128~129)  
… 数の大小を根拠として判断したり、説明したりする力を育む



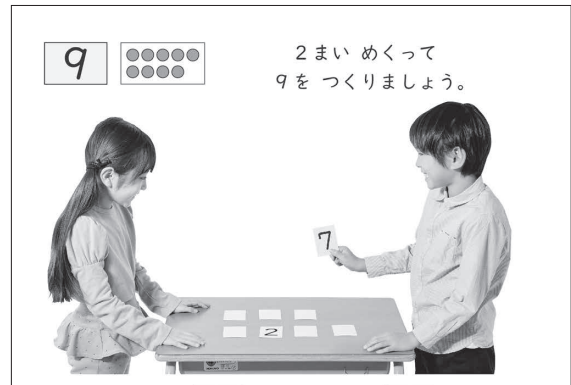
>>> 1年『かえますか? かえませんか?』p.128

③ 新しいものごとを理解し創造する能力を育て、学びに向かう力・人間性等が涵養できる。

●「やってみたい」という児童の意欲を支援します

1年生の初めは、友だちと学ぶことを楽しんだり、算数に慣れ親しんだりすることができるように、数や形に関するゲームスタイルの活動を多く設定しています。

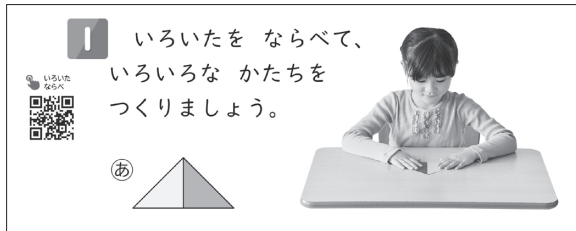
また、適宜、算数探しや問題づくりといった活動を設けて、自らが主体となって学び、友だちと伝えあうことの楽しさを感じ得るようにしています。



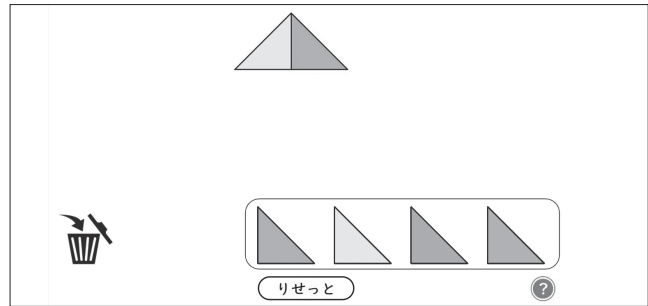
>>> すたあと ぶっく p.34

●QRコンテンツで創造性を育みます

具体物の操作では時間のかかる「かたちづくり」(1年p.70~72)では、いろいろな考えを何度でも簡単に試し、児童が創造的に取り組むことができるシミュレーションのQRコンテンツを用意しています。



>>> 1年p.70(かたちづくり)



単元の流れ

<p><b>本文</b></p> <p><b>I 問題</b> みんなで一緒に考えて協働的に学んでいきます</p> <p><b>数学的活動(問題解決)</b> 操作を中心として、具体的、体験的に理解を深めていきます</p>	<p><b>まなびのまとめ</b></p> <p><b>☑ たしかめよう</b> 「知識及び技能」や「思考力・判断力・表現力等」を評価します</p> <p><b>🔄 ふりかえろう</b> <b>👉 やってみよう</b> 児童の興味・関心に応じたふり返りと発展課題を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価します</p>	<p><b>ふくしゅう・じゅんび</b></p> <p><b>ふくしゅう</b> これまでに学んだことの定着を図るコーナー</p> <p><b>じゅんび</b> 次の単元に繋がる既習事項をふり返るコーナー</p>
---	--	--

すたあと ぶっく

<p><b>わくわく すたあと</b> 幼児期の体験と算数の学習との繋がりに触れます</p>	<p><b>本文</b> スタートカリキュラムとして、数や形に慣れ親しませます</p>	<p><b>さんすう みつけた</b> 身のまわりから算数を見つけ、学ぶ意欲を引き出します</p>
--	---	---



一斉問題として掲載したIマークのすべての問題で、その解説動画を視聴することが可能です。





## 2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
●すたあと ぶっく	▶『わくわく すたあと』で <b>幼児期の体験と算数の繋がりに触れ、学びに向かう意欲を高める</b> ようにしています。(第1号)	すたあと ぶっく p.2-3
	▶幼保小と継続して数や形への親しみを深め、幅広い知識と教養を身につけるための素地を育めるようにしています。(第1号)	すたあと ぶっく 全体
●本 文	▶日常の事象との繋がりにから学習を導入し、 <b>生活と関連づけて学習に取り組める</b> ようにしています。(第2号)	1年p.2-3、44-45、 128-129 など
	▶自他の敬愛と協力を重んずるよう、 <b>みんなと一緒に考えていけるよう配慮</b> するとともに、性別や国籍による役割を固定せず、 <b>児童一人ひとりが他者を尊重しながら、互いに協力し、学習を進めていけるよう配慮</b> しています。(第3号)	全体
	▶動物や植物などを題材とした学習を通して、 <b>生命を尊ぶ態度や環境の保全に寄与する態度が養える</b> ようにしています。(第4号)	1年p.10、23、 24-25、124-125 など
	▶紙芝居づくりやすごろく遊びといった活動を通して、 <b>我が国の伝統と文化にも触れられるよう配慮</b> しています。(第5号)	1年p.85、142-143 など
●まなびの まとめ	▶児童の興味・関心に応じたふり返りと発展課題を通して、 <b>個人の価値を尊重し、その能力を伸ばす</b> ようにしています。(第2号)	1年p.69、87、111
●巻 末	▶巻末には『けいさんの れんしゅう』や『かぞえかた』といった <b>自らの学習を調整しながら学べるコーナー</b> を設け、 <b>自主及び自律の精神を養える</b> ようにしています。(第2号)	1年p.136-138、 140-141 など

## 3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

ユニバーサルデザインへの  
取り組み

- デザインにおいては、個人差を問わず、必要な情報が正確に伝わるように配慮しています。
- 書体は識別がしやすいUDフォントを採用し、配色は色覚の特性によらず学びやすいものとなるようにMUD協会の検証を受けています。

## 特別支援教育への配慮

- 文章の改行をすべて文節で行うことで、読みやすくしています。
- 特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての子どもたちが支障なく学習できる環境づくりを目指し、共生社会の形成に向けた**インクルーシブ教育(共育)**に配慮しています。

道徳教育との  
関連、人権・ジェンダー・  
福祉への配慮

- みんなと一緒に考える展開を主とし、**他者の考えを尊重したり、他者の考えを踏まえて自分の考えを見直したり**することができるように配慮しています。
- 子どもの写真やイラストにおいては、**性別や国籍などによって役割を固定しない、服の色といった固定的なイメージで性別を区別しない**など、**性別・人種などに配慮し、互いに協力しながら活動**できるようにしています。

ご指導経験の  
浅い先生への配慮

- ワークブック機能を備えた新分冊『すたあと ぶっく』により学習準備が軽減され、入学直後の児童らの支援により多くの時間と労力をかけていただくことができます。
- QRコンテンツとして、**数字や記号のかき方を動的に示すことができるアニメーション**を用意しています。
- 教師用指導書を発刊し、日々の教材準備や個別的な指導を行いやすくするなど、よりよい授業を効率的に行っていくための支援をします。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-142	小学校	算数科	算数	1年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
61 啓林館	算数 120 算数 121	わくわく さんすう1 すたあと ぶっく わくわく さんすう1		

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

### 数学的な見方・考え方を価値づけ、 主体的・対話的で深い学びを実現する

「数学的な見方・考え方」は、問題把握から解決までのすべてのプロセスにおいて児童の内面で働くものと考えられます。1年生においても、「数学的な見方・考え方」を価値づける機会を徐々に増やし、学習経験を積み重ねていく中で「主体的・対話的で深い学び」へとステップアップしていくことが大切です。

#### ① 算数科におけるスタートカリキュラムの意義

1年新分冊『すたあと ぶっく』では、ブロックの操作や箱で形をつくる活動を通して、幼児期に培われた数量・図形への関心・感覚をより豊かなものにするとともに、その後の計算や図形の学習で働かせる「数学的な見方・考え方」の素地を培うことができます。

##### ● 数の合成・分解

おはじきいれを  
しましょう。

4と  2と

1と9  
と  
と  
と  
と  
と  
と  
と  
と  
と

じぶんで かずを きめましょう。

>>> すたあと ぶっく p.36-37

##### ● 繰り上がりのあるたし算

い けいさんの しかたを ことばで  
せつめいしましょう。

10をつくるには、あと  
3を たせば よいです。  
4を 3と 1に わけます。  
7に 3を たすと  
10です。  
10と 1で 11です。

7+4の けいさんの しかた  
7は あと 3で 10だから、  
● 4を 3と 1に わける。  
● 7に 3を たして 10  
● 10と 1で 11

7+4  
3

>>> 1年p.62

数の合成・分解が素地となる  
数学的な見方・考え方

#### ② 「数学的な見方・考え方」を示し、価値づけられるようにしています

キャラクターの吹き出しでは、児童の「問いや気づき」、児童が「数学的な見方・考え方」を働かせている様子などを例示しています。学習のねらいに応じてそれらを価値づけることで、学習経験を積み重ねるにしたがって「主体的・対話的で深い学び」へとステップアップできるようにしています。

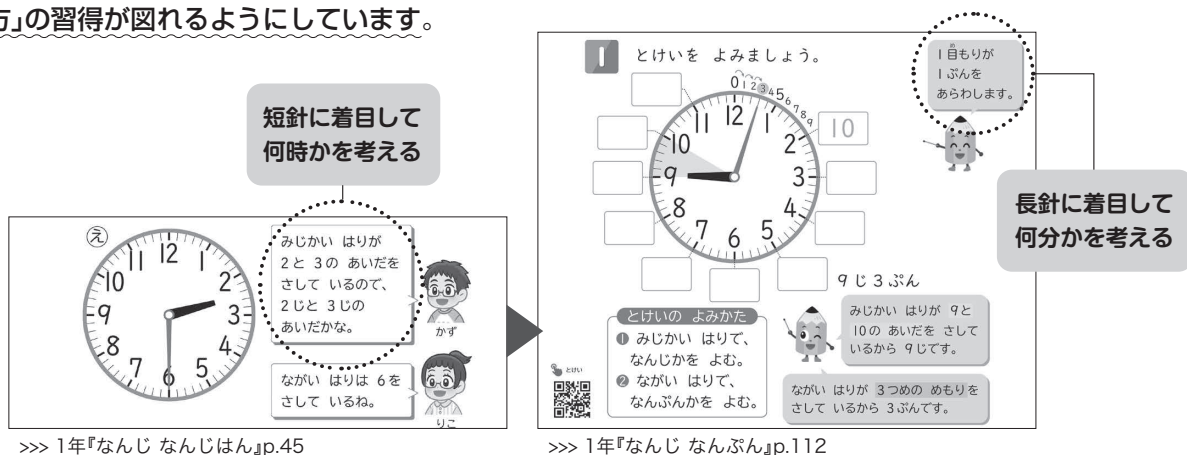
## 学年の特色、つまずきの多い箇所への対応

1年生では、学習内容を細かく分けたスモールステップ型の単元構成で学びやすくしています。また、『ふくしゅう』や『じゅんび』のコーナーも多く設けて、確かな理解の定着が図れるようにしています。

### ① 「時計のよみ方」を2つの単元に分けて学びやすくしています

日常生活と深く関わっている一方で、習得が困難だといわれる学習に「時計のよみ方」があります。

その大きな要因は、時計の短針と長針で異なるよみ方をしなければならないことにあります。このつまずきへの対応として、主に短針に着目して時計をよむ『なんじ なんじはん』単元(1年p.44~45)と、主に長針に着目して時計をよむ『なんじ なんぷん』単元(1年p.112~114)の2つの単元に分け、スモールステップで「時計のよみ方」の習得が図れるようにしています。



### ② つまずきへの対応としてQRコンテンツをご利用いただけます

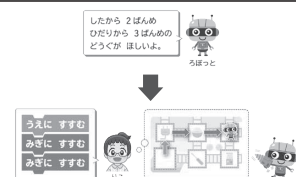
児童がつまずきやすいとされる内容には、くり返し学習ができる練習問題やシミュレーションなどのQRコンテンツを用意しています。

## 算数の有用性の実感

1年生では、身のまわりの事柄から算数の学習へと入っていきやすいようにするとともに、『まなびをいかそう』のコーナーで、身のまわりにある算数を見つけたり、身のまわりの問題に算数を活用したりする題材を取り扱い、算数を学ぶ意義を一層感じられるようにしています。

### ① 『わくわくぷろぐらみんぐ』(1年p.94~95)

「なんばんめ」(すたあとぶっくp.20~25)の学習をいかして、位置の表し方について学びます。プログラミング体験を通して学ぶことで、プログラミング的思考も育めるようにしています。



### ② 『かえますか? かえませんか?』(1年p.128~129)

50や100のまとまりに着目する数の見方・考え方を働かせて、全体の数量を見積もり、買えるかどうかの判断にいかす方法を学習します。日常生活の中で算数で学んだことを活用しようとする態度を育みます。

## ◆ 観点別特色

観点	特に意を用いた点や特色	該当箇所
教育基本法及び 学習指導要領 の遵守	▶教育基本法第二条「教育の目標」を踏まえた編集方針としています。	全体
	▶教育基本法第四条「教育の機会均等」の通り、すべての児童がひとしく教育を受ける機会が得られるよう、書体や配色、レイアウトにユニバーサルデザインを取り入れ、また、解説動画を含む多数のQRコンテンツを用意しています。	全体
	▶児童自ら「問いや気づき」を持って主体的に学習を進めていけるよう、また、協力して取り組む活動や考えを伝えあう場面を通して協働的に学習を進められるよう、児童の発言や活動の様子を数多く例示しています。	全体
主体的・対話的で 深い学び	▶操作などの数学的活動に児童1人ひとりが主体的に取り組めるよう配慮するとともに、考えを伝えあう場面を設けて対話的な学びを促すようにしています。	1年p.2-3、62、78 など
	▶児童が学習経験を積み重ね、成長していくのにあわせて、児童から「めあて」を引き出して深い学びへと向かう展開を取り入れています。	1年p.60-61、 76-77 など
数学的な 見方・考え方	▶幼児期に培われた数量・図形への関心・感覚をより豊かなものにするとともに、その後の計算や図形の学習で働かせる「数学的な見方・考え方」の素地を培うことができますようにしています。	すたあと ぶっく 全体
	▶既習とのつながりから児童自ら「問いや気づき」を見いだす様子や、児童が「数学的な見方・考え方」を働かせて活動する様子を、キャラクターの吹き出して数多く例示しています。	1年p.60、67、76、 83 など
知識及び 技能の習得	▶ブロックなどを操作する様子を丁寧に例示し、具体的・体験的な学びを通して基礎的な知識・技能が習得できるようにしています。	1年p.4-5、14-15、 48-49、91 など
	▶各種学力調査や先生方のお声を踏まえ、児童がつまずきやすいとされる内容には、くり返し学習ができる練習問題やシミュレーションなどのQRコンテンツを用意しています。	1年p.64、80、107、 112-113 など
	▶『ふくしゅう』や『じゅんび』のコーナーを多く設けて、確かな理解の定着が図れるようにしています。	1年p.12-13、 42-43、59 など
思考力・判断力・ 表現力等の育成	▶問題解決の中で、わかったことを表現したり、よりよい方法を考えたりする活動を適宜例示し、思考力や表現力が育めるようにしています。	1年p.52、60、76、 98 など
	▶既習事項をいかす場面では、見通しを立てたり、根拠を持って考えを進めたりする様子を例示し、思考力や判断力が育めるようにしています。	1年p.39、108、 116-117 など
	▶思考力・判断力・表現力等を日常生活にいかすことができるよう、数の見方・考え方を働かせて買えるかどうかを判断する『かえますか かえませんか』を設けています。	1年p.128-129
学びに向かう力・ 人間性等の涵養	▶児童が興味・関心を持って学習に向かうことができるよう、身のまわりの事柄から算数の学習へと入っていけるようにしています。	1年p.2-3、46-47、 90 など
	▶身のまわりから算数をみつける活動や単元末『やってみよう』で活用課題を設定し、学習したことをいかそうとする態度を育めるようにしています。	1年p.69、87、 106、111
	▶各巻の最後に、これまでのふり返りとこれから先の学習に目を向ける場面を設け、学び続けようとする態度を育めるようにしています。	すたあと ぶっくp.48、 1年p.135
評 価	▶単元末の『たしかめよう』は、知識・技能や思考力・表現力・判断力の評価に繋がられるよう構成しています。	1年p.40、68、86、 110
	▶単元末の『ふりかえろう』『やってみよう』は、主体的に学習に取り組む態度の評価に繋がられるよう構成しています。	1年p.41、69、87、 111



観点	特に意を用いた点や特色	該当箇所
内容、配列、分量	▶発達段階に配慮し、学習内容を細かく分けたスモールステップ型の単元構成で学びやすくしています。	全体
	▶年間配当時間は127時間とし、標準時間(136時間)よりも余裕を持たせた分量で構成しています。	全体
学習方法・展開の工夫	▶学習経験を積み重ねるのにしたがって「主体的・対話的で深い学び」へとステップアップできるようにしています。	1年p.60-61、76-77 など
1人1台端末環境への対応	▶操作活動の際にICTを活用できるよう、シミュレーションのQRコンテンツを用意しています。「形づくり」では、具体物の操作では時間のかかる創造的な活動も簡単に行えるようにしています。	すたあとぶっくp.18、1年p.8、20、27、70 など
	▶「わくわく ぶるぐらみんぐ」では、位置の表し方をプログラミング体験を通して学ぶことができるようにしています。	1年p.94-95
	▶児童の書き込みが保存できる学習者用デジタル教科書(有料)を発刊します。	全体
個別最適な学びへの配慮	▶動画やアニメーションなどのQRコンテンツを数多く用意し、児童1人ひとりの実態にあった最適な学びが実現できるよう配慮しています。	すたあとぶっくp.12、1年p.6、98 など
	▶『ふくしゅう』や『じゅんび』、単元末の『たしかめよう』にはフラッシュ問題のQRコンテンツを用意し、児童が必要と感じたときには解決のヒントを確認できるようにしています。	1年p.12-13、40、42-43 など
協働的な学びへの配慮	▶発達段階に配慮して基本的にはすべて一斉問題(■の問題)とし、みんなで一緒に考えて協働的に学習を進めていくことができるようにしています。	1年全体
	▶形づくりやゲームといった他者と楽しみながら協働的に学習できる場面も数多く設定しています。	すたあとぶっくp.43、1年p.139 など
学びのつながり(幼児教育との接続)	▶新分冊『すたあとぶっく』の巻頭に『わくわく すたあと』を設け、幼児期の体験を算数の学びへと繋げていくことができるようにしています。	すたあとぶっくp.2-3
	▶新分冊『すたあとぶっく』では、絵の上にブロックを置いたり、線や数字を書き込んだりしやすいよう配慮しています。	すたあとぶっく全体
他教科との関連(カリキュラム・マネジメント)	▶生活科を主とした「スタートカリキュラム」を踏まえた編集方針とし、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」のうち、特に「数量・図形への関心・感覚」を一層豊かなものにしていけるよう配慮しています。	すたあとぶっく全体
	▶国語科との関連として、言語活動の充実が図れるよう配慮するとともに、お話づくりや紙芝居の活動を取り入れています。	1年p.61、77、24-25、85 など
	▶道徳科との関連として、互いに協力しながら活動できるよう、性別により役割を固定しないことや丁寧な言葉遣いにするなどの配慮をしています。	全体
持続可能な開発目標(SDGs)、環境教育	▶動物や植物などを題材とした学習を通して、生命を尊ぶ態度や環境の保全に寄与する態度が育めるよう配慮しています。	1年p.10、24-25、124-125 など
衛生、感染症対策	▶教科書制作において感染症対策を徹底するとともに、教科書ご利用の際の留意点を巻頭に掲載しています。	すたあとぶっく・1年もくじ
臨時休校等への配慮、学校外での学習活動	▶一斉問題(■の問題)のすべてに解説動画を用意し、臨時休校等においても学びが途絶えることのないよう配慮しています。	1年全体
	▶学習したことの定着や確認を図るコーナーにはQRコンテンツを配し、学校外での学習活動においてもヒントや答えを確認しながら自学で取り組めるよう配慮しています。	1年p.11、28、33、40、45、64、84 など
用紙、印刷、製本	▶用紙には、軽くて印刷が鮮明な再生紙を採用しています。印刷には、植物油インキを使用し、環境やアレルギーにも配慮しています。	1年全体
	▶新分冊『すたあとぶっく』は、書き込みやすい筆記特性に優れた用紙を採用し、大きく平らに開くことができる中綴じ製本にしています。	すたあとぶっく全体

## 2 対照表

単元名		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数	配当月
す た あ と ぶ っ く	★わくわく すたあと	第3-1-(4) (幼児期の体験との繋がり)	p.2-3	-	4月
	①わくわく がっこう	A(1) ア(ア)	p.4-9	3	
	①かずと すうじ	A(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.10-19	7	5月
	②なんばんめ	A(1) ア(イ) イ(ア)	p.20-25	3	
	③いくつと いくつ	A(1) ア(イ)(エ) イ(ア)	p.26-39	7	
④いろいろな かたち	B(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.40-47	3	6月	
●さんすう みつけた!	第3-3-(2) (数学的活動を楽しむ機会)	p.48	1		
1 年	⑤ふえたり へったり	A(2) ア(ア) イ(ア)	p.2-3	1	6月
	⑥たしざん (1)	A(2) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.4-11	7	
	・ふくしゅう	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.12-13	1	7月
	⑦ひきざん (1)	A(2) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.14-25	10	
	⑧かずしらべ	D(1) ア(ア) イ(ア)	p.26-27	1	
	・ふくしゅう	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.28-29	1	9月
	⑨10より おおきい かず	A(1) ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ) イ(ア) A(2) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.30-41	8	
	・ふくしゅう	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.42-43	1	10月
	⑩なんじ なんじはん	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.44-45	1	
	⑪おおきさくらべ (1)	C(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.46-53	5	
	⑫3つの かずの けいさん	A(2) ア(イ)(ウ)(エ) イ(ア)	p.54-58	4	11月
	・ふくしゅう、じゅんび	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.59	1	
	⑬たしざん (2)	A(2) ア(ウ) イ(ア)	p.60-69	9	12月
	⑭かたちづくり	B(1) ア(イ) イ(ア)	p.70-74	5	
	・ふくしゅう、じゅんび	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.75	1	
	⑮ひきざん (2)	A(2) ア(ウ) イ(ア)	p.76-87	11	1月
	⑯0の たしざんと ひきざん	A(2) ア(ウ) イ(ア)	p.88-89	2	
	⑰ものと ひとの かず	A(1) ア(イ) イ(ア) A(2) ア(イ) イ(ア)	p.90-93	3	2月
	●わくわく ぶろぐらみんぐ	B(1) ア(ウ) イ(ア) 第3-2-(2) (プログラミング体験)	p.94-95	1	
	・ふくしゅう	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.96-97	1	
	⑱大きい かず	A(1) ア(ウ)(オ)(カ)(キ) イ(ア)	p.98-111	13	3月
	⑲なんじ なんぶん	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.112-114	2	
	⑳おなじ かずずつ	A(1) ア(ク) イ(ア)	p.115	1	2月
	●たすのかな ひくのかな	A(2) ア(イ) イ(ア)	p.116-117	1	
	・ふくしゅう	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.118-119	1	
	㉑100までの かずの けいさん	A(2) ア(エ) イ(ア)	p.120-123	4	3月
	㉒おおいほう すくないほう	A(2) ア(イ) イ(ア)	p.124-125	2	
	㉓大きさくらべ (2)	C(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.126-127	1	3月
	●かえますか? かえませんか?	第3-2-(5) (およその大きさに基づく判断)	p.128-129	1	
	・もう すぐ2年生	第3-1-(2) (次学年への円滑な接続)	p.130-135	3	
★けいさんれんしゅう など	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.136-144	-	-	
				配当時数	127
				予備時数	9

記号の意味 ●…活用・問題解決のページ、★…特設ページ、第3…指導計画の作成と内容の取扱い

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-142	小学校	算数科	算数	1年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 120 算数 121	わくわくさんすう1 すたあとぶっく わくわくさんすう1		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
122	25+10の けいさん	1	A(2)ア(エ) (簡単な場合について、2位数などについても 加法及び減法ができることを知ることに関連して、 実際の加法の計算を扱います。)	0.25
123	36-10の けいさん	1	A(2)ア(エ) (簡単な場合について、2位数などについても 加法及び減法ができることを知ることに関連して、 実際の減法の計算を扱います。)	0.25
合 計				0.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容